

# 河川砂防技術研究開発公募(河川技術分野)平成21年度採択テーマ

## 事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
新材料を用いた樋門樋管用ゲートの技術開発とその適用性の検討(研究期間:H21~H23)	河川防災新技術開発研究会 三木 博史	A
<b>&lt;研究概要&gt;</b> 従来、樋門樋管用ゲートに適用されてきた鋼材ゲートやFRPゲートの短所を克服する目的で合成高分子材料(プラスチック)やコンクリートパネルと合成樹脂材料との複合材料でゲートを構築する技術開発をおこなった。 試作した新材料ゲートの性能評価試験の結果、ゲートの必要特性を満足することを確認し、あわせて性能規定化に資する適用性指標を作成した。 ライフサイクルコストでは鋼製ゲートに比較して優位となることを試算した。		
<b>&lt;事後評価コメント&gt;</b> 本研究では、新材料(プラスチック材料や複合材料)を用いて、コスト低減が可能な樋門樋管用ゲートを開発し、性能規定化に資する適用性指標を作成している。 今後は、許容たわみ度に関する更なる検証を行うとともに、野外における長期間の耐久性、増水時の安全性等を確認し、新材料の性能データの蓄積と改善を行い、行政と連携し実運用化を進めて頂きたい。		

### ※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い